

○市町立学校施設の耐震化の推進状況

学校施設は、災害発生時には地域住民の応急避難所としての役割を担っていることから、県では、国庫補助の活用や、技術的課題に関する指導・助言、耐震化に関する研修会の開催等を通じて、市町立学校の耐震改修を支援しています。

平成 29 年 4 月 1 日現在、市町立小中学校の耐震化率は 99.6%となっており、統廃合による仮利用等やむを得ないものを除き、概ね完了しています。

【県内公立小中学校校舎の耐震化状況】

H29. 4. 1 現在			【参考】 H28. 4. 1 現在
完了数／全棟数	耐震化率（全国値）	未実施棟数	耐震化率（全国値）
5, 021／5, 040	99. 6%（98. 8%）	19	99. 5%（98. 1%）

○非構造部材（屋内運動場等の吊り天井等）の耐震対策の状況

校舎など建物の耐震化とともに、天井材の落下防止など、非構造部材の耐震化にも取り組んでいます。

なかでも、屋内運動場等の吊り天井等の落下防止対策は、平成 26 年度から対策工事を本格的に促進しており、平成 29 年 4 月 1 日現在の対策率は、99.0%となっており、残りの施設についても平成 29 年度中には完了する見込みです。

なお、熊本地震では、ガラスや内外装材等の非構造部材の破損等により、避難所として使用できない学校施設が一部に見られたことから、市町に対して、非構造部材の耐震化の徹底について指導しています。

【屋内運動場等の吊り天井落下防止対策状況】

H29. 4. 1 現在			【参考】 H28. 4. 1 現在
完了数／全棟数	対策率（全国値）	未実施棟数	対策率（全国値）
1, 272／1, 285	99. 0%（97. 1%）	13	95. 9%（95. 0%）